OTK
支える
No.116
大阪府重症心身障害児・者を支える会
全国重症心身障害児（者）を守る会
大阪支部

第29回 定期総会、記念講演会開催

第29回定期総会

大阪支部長

6月11日、早川福祉会館（大阪市東住吉区）におきまして、令和４年度大阪府重症心身障害児・者を支える会・全国重症心身障害児（者）を守る会大阪支部の第29回定期総会を開催いたしました。新型コロナの感染対策を行い３年ぶりの開催となりました。

支える会・会長の開会の挨拶に続き、大阪府、大阪市、堺市、全国重症心身障害児（者）を守る会よりご挨拶とご祝辞をいただきました。

令和３年度の活動をビデオ上映した後、議事に入りました。令和３年度事業報告、会計報告、会計監査報告に続き役員改選、令和４年度事業計画、収支予算の審議、承認と滞りなく終了いたしました。

御来賓挨拶

大阪府

大阪市

堺　市

近畿ブロック長

守る会３原則

★決して争ってはいけない　争いの中に弱いものの生きる場はない
★親個人がいかなる主義主張があっても、重症児・者運動に参加する者は党派を超えること
★最も弱いものを一人ももれ無く守る

「支える会」事務局

〒５４５－００２１
大阪市阿倍野区阪南町５－１５－２８
育徳コミュニティーセンター２階
大阪府重症心身障害児・者を支える会
会長　長谷川　幸子
ＴＥＬ　０６－６６２４－２５５５
ＦＡＸ　０６－６６２４－２５５６
＜郵便振替＞　００９３０－９－６９５９８

支える会ホームページのご案内

ドメイン名　http://www.sasaeru.or.jp/
メールアドレス　osaka@sasaeru.or.jp

◎様々な御意見・御質問や情報をメールやＦＡＸにお寄せ下さい。

全国・各地へリンクあり！

8月

令和４年８月５日発行（毎月6回1、5、11、15、21、25日の発行）ＯＴＫ通巻第5612号　昭和51年9月7日　第三種郵便物認可

全国重症心身障害児（者）を守る会

近畿ブロック専門部会議開催のご案内

日　時：**令和４年10月２９日（土）13：00～16：00（受付12：30～）**
場　所：**ホテルビナリオ嵯峨嵐山**　２階・３階
京都市右京区嵯峨天龍寺広道町３番地４（T．075－871－9711）
内　容：４専門部会に分かれてテーマを討議、最後に全体会で部会長がまとめ報告他
・重症児施設部会　・在宅部会　・国立施設部会　・母親部会
＊在宅部会はzoomで意見集約をします。日程は未定ですが参加ご希望の方は事務局までお知らせください。
◎ 参加費：　無　料　　◎ 締め切り：　９月20日（火）
◎ 参加希望の方は、事務局までお問い合せ下さい。
大阪府重症心身障害児・者を支える会事務局　TEL：06－6624－2555
◎ 新型コロナの感染状況により、開催内容等の変更がありますのでご了承下さい。

■全国重症心身障害児（者）を守る会　活動報告

６月２５日　第１回支部長会議
大阪支部からはウェブ出席をいたしました。令和３年度活動報告・決算報告、令和４年度補正予算の審議を行いました。
第５９回 全国大会・要望書の審議、情報提供、各支部の活動報告等を行いました。

７月　２日　近畿ブロック第２回役員会
大阪支部から３名の役員が出席をいたしました。zoom（ズーム）を使用しウェブ併用会議の準備を進めています。
令和４年度の専門部会、研修会について協議しました。

■全国重症心身障害児（者）を守る会　お知らせ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、第59回 全国大会（９/23～/24）、近畿ブロック研修会（11/26）は中止となりました。ご参加を検討いただいた皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

編集後記

無事に総会・記念講演会を終えることができほっとしていたところに、新型コロナ感染症の第７波が。元の生活に戻ることはできるのでしょうか？

この現状で、できることを探しながら、新しいことにチャレンジしていかなければと、還暦を過ぎた頭と身体に言い聞かせるこの頃です。

大阪万博に向けて、医療的ケアが必要な方にどのような配慮が必要かという意見交換会に個人的に参加をしました。これまで、子どもと出かけて不自由に感じたことをお伝えしました。万博を機にさらに大阪のバリアフリーが前進していくことを期待しています。（H・S）

編集・責任者
（事務局）〒545－0021
大阪市阿倍野区阪南町５－１５－２８
育徳コミュニティーセンター２F
TEL06－6624－2555
FAX06－6624－2556
長谷川　幸子
郵便振替口座00930－9－69598
大阪府重症心身障害児・者を支える会

発行所　大阪身体障害者団体定期刊行物協会
〒573－0017
大阪府枚方市印田町14－17　下野　浩方
定価　50円
（会員の方は会費の中に含まれています）

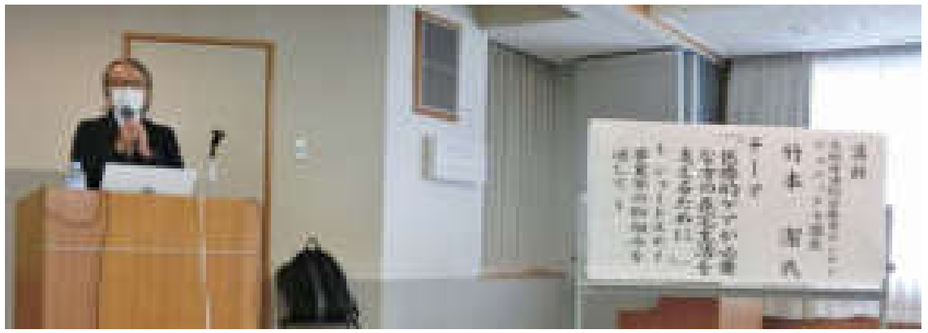
記念講演会

総会の後、午後からは記念講演会を開催いたしました。大阪発達総合療育センター副院長兼フェニックス園長の竹本潔先生に『医療的ケアが必要な方の在宅生活を支えるために』をテーマにショートステイ事業等の取組みを中心にご講演いただきました。

今回は会場にお越しいただいた皆さんに加え、ウェブでのご参加もいただきました。

当事者、ご家族に加え、行政関係、施設職員の方々からもご感想を寄せていただきました。フェニックスの事業内容がよくわかり、家族のレスパイト、利用者ご本人の安心・安全・快適な生活を支えてくださっている様子が伝わってきましたとのこと。またショートステイと並行して在宅生活を支えていただいている事業についてもお話をいただきました。お話の随所に竹本先生の優しいお人柄を感じることができました。

重症心身障がい児者と家族、また医療的ケアを必要とされている方々の生活を支える施設として今後とも発展されることを期待しております。



アンケートの一部をご紹介致します

家庭と同じケアの難しさや、それに対して様々工夫されて受け入れられている状況を教えていただきありがとうございました。医療的ケアが必要な方の短期入所の課題について、大変勉強になりました。（行政関係者

フェニックスのこと、よくわかりました。入所、在宅をくり返している60才、男性（医療的ケアなし）、藤井寺に住民票がありますが、利用できたらいいなぁと思いました。妹さんの結婚式のところで声をつまらせられ私も同じ立場で胸がいっぱいになりました。もっとお話をきけたらと思います。ありがとうございました。（親・家族

ショートステイ、レスパイトの違いを詳しくお話しして下さってよくわかりました。「医療的ケアが必要な方々の在宅生活を支えるために」家族は毎日、不安と緊張の生活だと思います。多くの支援が必要だと思います。これからは、安心して生活ができるよう親には限界があります。制度が良い方向に改革され心にゆとりを持って生活できるようになるといいですね。（所属の記入なし

細やかなフェニックスでの事業データーを提示していただきながら、実態や課題もよくわかりやすい報告でした。先生の落ち着いた話し方もたいへん聞きやすかったです。　介護者のレスパイトのための短期入所の役割はもちろんですが、利用者にとって安心、安全かつ、快適な生活を望まれるフェニックスさんや竹本先生の想いが、よく伝わり感銘を受けました。　私自身の事業所がある北摂地域にも、フェニックスさんのようなすばらしい理念をもった短期入所ができることを望みます。（施設職員

令和３年度事業報告

2021

本年度も新型コロナ感染症拡大により、様々な活動が制約を受ける中、重症化リスクの高い重症心身障害児者と支援者にとっては大きな不安を抱えながらの１年でした。そのような状況下で、日々重症心身障害児者を感染から守り支援を継続してくださっている医療・福祉・教育等の関係者の皆さまに感謝を申し上げます。

以下の通り、本年度の活動の報告をいたします。昨年度から取り組んでおります、インターネットを活用した運営委員会、クリスマス会は今後も外出が困難な状況にある会員の方々とのコミュニケーション手段として活用していきたいと考えます。

1．会員の拡大のための事業
＊ホームページの運営
＊パンフレットの配布、会員にむけた勉強会等を開催

2．講演会・研修会
＊支える会セミナー　【中止】

3．会員相互による勉強会等
＊施設見学　【中止】

4．交流事業
＊会場・オンライン　ハイブリッドクリスマス会
［於：あべのハルカス］　２０２１年12月11日

5．啓発事業
＊オンライン リモートワークアプリ マイクロソフトチームズ運用
＊大阪府障がい者自立支援協議会　医療依存度の高い重症心身障がい児者等支援部会　参加
＊大阪市医療的ケアが必要な児童等の支援に関する検討会議　参加
＊医療的ケア児等コーディネーター養成研修　大阪府・大阪市（講師派遣）
＊ＯＤＦ、ＳＤＦ協力
＊ショートステイ連絡協議会への参加
＊「重症児者の拠点作りの会」（北摂）協力
＊「大阪きょうだいの会」例会周知協力
＊大阪府　新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組みについての情報周知
＊ドキュメンタリー映画　帆花（ほのか）周知協力

6．機関紙の発刊
＊機関紙「支える」を年間計２回発行

月別活動報告

２０２１年４月
＊運営委員会　（９日）

５月
＊運営委員会　（14日）

６月
＊運営委員会　（18日）
＊正・副会長会議　（18日）
＊第28回定期総会　書面決議　（19日）
＊コロナ感染症に伴う要望書参画提出
（大阪ショートステイ連絡協議会）

７月
＊運営委員会　（９日）

８月
＊運営委員会　※中止
＊大阪市　医療的ケアが必要な重症心身障がい児者への短期入所事業に係るアンケート調査協力

９月
＊運営委員会　（10日）
＊正・副会長会議　（10日）
＊大阪府医療的ケア児等コーディネーター養成研修　講師派遣（24日）

10月
＊運営委員会　（８日）
＊大阪府医療依存度の高い重症心身障がい児者等支援会議　参加　（６日）

11月
＊大阪市医療的ケア児等コーディネーター養成研修　講師派遣　（７日）
＊機関紙「支える」１１３号発行　（11日）
＊運営委員会　（12日）

12月
＊運営委員会　（10日）
＊正・副会長会議　（10日）
＊会場・オンライン　ハイブリッドクリスマス会（11日）［あべのハルカス25階］

２０２２年１月
＊運営委員会　（14日）
＊映画　「帆花」情報周知

次のページへ続く

前のページの続き

2月
＊運営委員会（11日）※中止
＊大阪市医療的ケアが必要な児童等の支援に関する検討会議（14日）
＊機関紙「支える」114号発行（17日）
3月
＊ショートステイ連絡協議会
講演会　後援（5日）
＊運営委員会（11日）

守る会関係

近畿ブロック役員会
2021年4月3日　書面開催
2021年7月3日　※中止
京都　嵯峨嵐山
2021年10月2日　京都　嵯峨嵐山
2021年12月4日　京都　嵯峨嵐山
2022年2月26日　書面開催
京都　嵯峨嵐山

近畿ブロック専門部会議
2021年10月14日　在宅部会　zoom(ズーム)オンライン
2021年10月23日　京都　嵯峨嵐山

近畿ブロック研修会
2021年11月20日　※中止　福井県

支部長会議
2021年6月26日　Web出席
2022年3月26日　「守る会」本部

ブロック専門部会長会議
2021年11月27日　「守る会」本部

新任支部長等研修
2021年9月11日　「守る会」本部

運動推進委員会
2021年4月24日　※中止　「守る会」本部
2021年6月5日　「守る会」本部
2021年9月12日　「守る会」本部
2021年11月27日　「守る会」本部
2022年1月29日　「守る会」本部
2022年3月25日　「守る会」本部

アンケート調査実施　専門部会開催方法
2021年6月11日～24日

アンケート調査実施　会議等のオンライン方式について　2021年11月1日～25日

「両親の集い　Web版」動画配信
2021年9月～12月24日まで

2021年度　収支決算報告書

自2021.4.1至2022.3.31

収入の部 科目	金額	摘要	支出の部 科目	金額	摘要
41会費収入	869,800		31事務費支出	438,161	
01正会員会費収入	791,800		01職員俸給	0	
02協力会員会費収入	78,000		02職員諸手当	0	
42寄付金収入	328,180		03賃金	0	
01寄付金収入	328,180	大阪ゆとりライオンズクラブ様他	04法定福利費	0	
43事業収入	15,500		05旅費	0	
01バザー収入	0		06消耗品費	9,094	事務用品
02その他の事業収入	15,500		07器具什器費	0	
44補助金収入	0		08印刷製本費	5,515	
01地方公共団体補助金収入	0		09賃借料	360,000	事務所使用料等
02公益事業補助金収入			10会議費		
45本部助成金収入	0		11修繕費	0	
01本部助成金収入	0		12通信運搬費	45,278	郵送、電話料金等
46雑収入	7		13手数料	18,274	銀行、郵便振替分等
01雑収入	7	利息収入	14雑費		
47設備資金借入金収入	0				
01設備資金借入金収入	0		32事業費支出	155,262	
48引当金戻入	0		01研修会開催費	0	
01修繕引当金戻入	0		02レクリエーション活動費	44,000	
02備品等購入引当金戻入	0		03分会活動費	0	
03人件費引当金戻入	0		04調査啓発事業費	66,720	両親の集い等
49積立金戻入	0		05機関紙出版費	44,542	機関誌印刷費、発送費用等
01建設積立金戻入	0		06その他の事業費	0	
02その他の積立金戻入	0				
			33本部会費	471,400	
			01本部会費	471,400	
			34近畿ブロック会費	28,600	
			01近畿ブロック会費	28,600	
			35雑支出	19,720	
			01慶弔費		
			02雑支出	19,720	
			36積立金繰入	0	
			01建設積立金繰入	0	
			02その他の積立金繰入	0	
			37引当金繰入	0	
			01修繕引当金繰入	0	
			02備品等購入引当金繰入	0	
			03人件費引当金繰入	0	
当期収入額計	1,213,487		当期支出額計	1,113,143	
前期繰越金	145,677		当期繰越金	246,021	
収入合計	1,359,164		支出合計	1,359,164	

「支える会」入会のご案内

大阪府重症心身障害児・者を支える会（全国重症心身障害児(者)を守る会の大阪支部）への入会についてご案内いたします。

【個人会員】　**◎年会費 10,200円**
本部会員 及び 大阪支部会員
◎年会費　3,600円
大阪支部会員

【法人・団体会員】　**◎年会費 10,000円**（1口）
本部会員 及び 大阪支部会員

【協力会員】　**◎年会費　3,000円**（1口）
大阪支部会員(運営資金の協力会員)

☆申込み・問い合わせは事務局までお願いします

会費納入のお願い

既に納入がお済みの方にはあしからずお許しを賜りますようお願い申し上げます。

＜郵便振替＞
００９３０－９－６９５９８
大阪府重症心身障害児・者を支える会

＜問い合わせ＞
ＴＥＬ　０６－６６２４－２５５５
ＦＡＸ　０６－６６２４－２５５６

大阪府重症心身障害児・者を支える会役員名簿　◎ 任期２０２４年総会

	役職	氏名		役職	氏名
1	会長	長谷川　幸子	8	運営委員	成田　憲子
2	副会長	鈴木　祥子	9	〃	上田　敦子
3	副会長	菊永　裕子	10	〃	岡本　汎美
4	会計	吉村　志津子	11	〃	中谷　弘子
5	会計監査	平野　健三	12	〃	柳　晴美
6	運営委員	山村　寿子	13	〃	立花　直樹
7	〃	寺岡　冨子			

令和４年度事業計画

2022

基本方針

重度の障害を持っていても1人の人間としての人格と個性を持っていることを認識し、重症心身障害児・者が、当たり前の人として、当たり前の生活を続けられることを支えていく。

活動方針

新型コロナ感染症の収束がいまだ見えず、新しい暮らしの形が模索されている中、重い障がいを持ち困難さを抱える方々の支援がより充実したものになるように取り組んでいきます。また災害時における緊急避難等、混乱の中においても取り残されることなく安全を確保していけるよう、行政をはじめ様々な分野の方々と連携を深めていきます。

今年度も引き続きインターネットを活用し会員相互のコミュニケーション、情報提供に努めていきます。

事業計画

1．会員拡大のための事業

＊ホームページの充実

（再構築、協力団体との連携等）

＊パンフレットの配布、会員にむけた勉強会の開催

2．講演会・研修会

＊記念講演会（総会終了後）

『医療的ケアが必要な方の在宅生活を支えるために』

～ショートステイ事業等の取組みを通して～

２０２２年６月11日（土）

会場：早川福祉会館　４Ｆ（ホール）

講師：竹本　潔　氏

（大阪発達総合療育センター・フェニックス園長）

＊医療と福祉の連携強化のためのシンポジウムⅦ

２０２２年９月（未定）　会場：未定　講師：未定

＊支える会セミナー

２０２２年10月（未定）　会場：未定　講師：未定

3．会員相互による勉強会等

＊施設見学　２０２２年９月

（場所：グループホーム ＰＯＰ×２（ぽぷら））

4．交流事業

＊クリスマス会

２０２２年12月（未定）　会場：未定

5．啓発事業

＊大阪府及び各市町村との懇談等

＊大阪府障がい者自立支援協議会　医療的ケアを要する重症心身障がい児等支援部会への参加

＊医療的ケア児等コーディネーター養成研修　協力

＊ＯＤＦ・ＳＤＦ参加

＊ショートステイ連絡協議会への参加

＊「重症児者の拠点作りの会」（北摂）協力

＊医療的ケアワーキング グループ設置（在宅部会）と全国医療的ケアライン　連携

＊「大阪きょうだいの会」例会周知協力

＊オンライン リモートワークアプリ マイクロソフトチームズ運用

＊大阪府　新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組みについての情報周知

6．広報活動事業

＊機関紙「支える」の発刊（年４回予定）

＊ホームページの運営

月別活動計画

２０２２年４月

＊運営委員会　（８日）

5月

＊機関紙「支える115号」発行（5日）

＊運営委員会（13日）

6月

＊運営委員会（3日）

＊正・副会長会議（3日）

＊第29回定期総会、記念講演会（11日）

7月

＊機関紙「支える」発行

＊運営委員会

8月

＊運営委員会

＊会組織に関する検討会

9月

＊運営委員会

＊正・副会長会議

＊施設見学

＊医療と福祉の連携強化のための シンポジウムⅦ

10月

＊運営委員会

＊支える会セミナー

＊機関紙「支える」発行

11月

＊運営委員会

12月

＊運営委員会

＊正・副会長会議

＊クリスマス会

２０２３年１月

＊運営委員会

＊会組織に関する検討会

＊機関紙「支える」発行

次のページへ続く

前のページの続き

2月

＊運営委員会

3月

＊運営委員会

守る会関係

近畿ブロック役員会

２０２２年４月２日　［京都　嵯峨嵐山］

２０２２年７月２日　［京都　嵯峨嵐山］

２０２２年10月１日　［京都　嵯峨嵐山］

２０２２年12月３日　［京都　嵯峨嵐山］

２０２３年２月25日　［京都　嵯峨嵐山］

全国大会

２０２２年９月23日・24日　［北海道］

近畿ブロック専門部会会議

２０２２年10月29日　［京都　嵯峨嵐山］

近畿ブロック研修会

２０２２年11月26日　［福井県］

支部長会議

２０２２年６月25日　「守る会」本部

２０２３年３月25日　「守る会」本部

運動推進委員会

２０２２年４月23日　「守る会」本部

２０２２年６月24日　「守る会」本部

２０２２年９月22日　「大会会場」

２０２２年11月19日　「守る会」本部

２０２３年１月28日　「守る会」本部

２０２３年３月24日　「守る会」本部

ブロック専門部会長会議

２０２２年11月19日　「守る会」本部

新任支部長等研修

２０２２年７月30日　「守る会」本部

２０２２年度　収支予算書

収入の部 科目	金額	支出の部 科目	金額
41会　費　収　入	900,000	31事　務　費　支　出	555,000
01正会員会費収入	800,000	01職員俸給	0
02協力会員会費収入	100,000	02職員諸手当	
42寄付金収入	300,000	03賃　　金	0
01寄付金収入	300,000	04法定福利費	
43事　業　収　入	200,000	05旅　　費	20,000
01バザー収入	0	06消耗品費	20,000
02その他の事業収入	200,000	07器具什器費	
44補助金収入	0	08印刷製本費	20,000
01地方公共団体補助金収入	0	09賃　借　料	360,000
02公益事業補助金収入	0	10会　議　費	60,000
45本部助成金収入	0	11修　繕　費	
01本部助成金収入	0	12通信運搬費	50,000
46雑　　収　　入	0	13手　数　料	20,000
01雑　　収　　入	0	14雑　　費	5,000
47設備資金借入金収入	0		
01設備資金借入金収入	0	32事　業　費　支　出	410,000
48引当金戻入	0	01研修会開催費	100,000
01修繕引当金戻入		02レクリエーション活動費	150,000
02備品等購入引当金戻入	0	03分会活動費	30,000
03人件費引当金戻入	0	04調査啓発事業費	60,000
49積立金戻入	0	05機関紙出版費	50,000
01建設積立金戻入	0	06その他の事業費	20,000
02その他の積立金戻入	0		
		33本部会費	480,000
		01本部会費	480,000
		34近畿ブロック会費	30,000
		01近畿ブロック会費	30,000
		35雑　支　出	35,000
		01慶　弔　費	20,000
		02雑　支　出	15,000
		36積立金繰入	
		01建設積立金繰入	0
		02その他の積立金繰入	0
		37引当金繰入	0
		01修繕引当金繰入	0
		02備品等購入引当金繰入	0
		03人件費引当金繰入	0
当　期　収　入　額　計	1,400,000	当　期　支　出　額　計	1,510,000
前期繰越金	246,021	当期繰越金	136,021
収　入　合　計	1,646,021	支　出　合　計	1,646,021

● 大阪きょうだいの会は障害児者の兄弟姉妹（きょうだい）の自助グループです。きょうだい当事者が主催し、参加者一人一人が抱えている問題を仲間のサポートを受けながら、自分自身で解決の道を探っていくことをめざしています。活動の柱は例会の開催ですが、他に、セミナーなどの啓発活動、全国・関西各地のきょうだい会との交流活動なども行っています。（2011年1月発足）

● 例会はきょうだいの「語り」と「傾聴」の場です。「きょうだい」という言葉で自分の体験や気持を語れる場、自分の生きづらさ・悩み・不安などを仲間に話し・聴いてもらう場、もやもやとした感情を吐き出す場、気づきの場・・・でありたいと願っています。

例会の参加対象は原則として18 歳以上の「きょうだい」だけに限定しています。当事者以外の人（親や専門家、評論家的な人など）がその場にいると、なかなか「本音」を出しづらいからです。親の立場の方にとっては納得しづらいことかもしれませんが、親子関係で悩み、生きづらさを抱えて苦しんでいるきょうだいが想像以上にいます。

日曜日の午後に大阪市内の公共施設で例会を開催しています。毎回の参加者は10人前後で半数は初参加の方で、年齢構成は10代～70 代まで幅広く、どちらかといえば女性が多いです。

お互いの顔を見ながら語り合っていると、言葉以外の表情やしぐさ、対話の微妙な間合いが「きょうだいあるある話」を盛り上げ、豊かにしてくれています。異世代の人たちと議論や情報交換をするなかで学ばされる事、気づかされる事、刺激され勇気づけられる事がたくさんあります。

● 疫病や戦乱、貧困などで世の中が不安定になり互いの分断化と対立が進む中では、様々な問題を抱えたマイノリティ（社会的弱者）が孤立せずにその人なりの「普通のくらし」を維持することがますます難しくなりそうです。

障害児者家族の内外から「お互いの傷をなめあってどうするのだ・・・」という声が時おり聞こえてきますが、当事者（親・障害のある兄弟姉妹・きょうだい）の自尊感情が大切にされ育まれるような居場所づくりがますます必要だと思います。きょうだい会もそのひとつです・・・。

あなたのご参加をお待ちしております。親の立場の方はきょうだいの背中をそっと押してあげてください。

＊＊＊ 例会のご案内 ＊＊＊

●第70回例会　2022年８月28日（日）、国労大阪会館２階第1小会議室。最寄駅＝JR天満駅から徒歩5分。
電話＝06-6354-0661

●第71回例会　2022年10月30日（日）、国労大阪会館２階第1小会議室。最寄駅＝JR天満駅から徒歩5分。
電話＝06-6354-0661

★いずれも13時15分～17時。参加費1,000円。
★ご連絡は世話人（溝上090-2384-9368）まで、ショートメール又は電話でお願いします。
当日参加も歓迎です。

「 医療と福祉の連携強化のためのシンポジウム ステージ Ⅶ 」

～ 生活に医療が必要な方が自分らしく暮らし続けるために ～

情報提供

■日　時　**2022年9月17日(土)**
10：00～16：45（9：00～受 付）

■会　場　**グランフロント大阪 タワーＣ：北館８階**（大阪市北区大深町３－１）

■主　催　医療と福祉の連携強化のためのシンポジウム実行委員会

■後　援（申請中）　大阪府、大阪市、大阪府医師会、大阪府肢体不自由児者父母の会連合会、大阪府重症心身障害児・者を支える会

■協　力　一般社団法人　大阪薬業クラブ

■参加費　無 料　（定員： 会場 ９０名＊程度。定員になり次第締め切りといたします。）
（オンラインを併用して開催）
＊会場の定員は施設上限数の２分の１を目安にしています。

■感染症対策　会場に対して余裕のある定員とし、席を離した形でセッティングをします。
また、換気等に配慮するとともに、来場時に検温（非接触型検温器）を行い、
手指消毒及びマスクの使用（配布）を前提として実施します。

■内　容　第１部　**基調講演**……（１０：００～１２：００）
「医療的ケア児と家族を支えるサービスの実践」（仮題）
～医療的ケアが必要な子どもと家族が安心して心地よく暮らすために～
講師：　島津　智之氏（認定ＮＰＯ法人　ＮＥＸＴＥＰ理事長）

第２部　**＊講 演 1**……（１２：４５～１３：４５）
「大阪府地域ケアシステム整備事業の展開」（仮題）
講師：　大阪府より（調整中）

＊講 演 2……（１３：４５～１４：４５）
「地域での暮らしへの道筋」（仮題）
講師：　位田　忍　氏（大阪母子医療センター移行期医療支援センター長）

＊講 演 3……（１４：４５～１５：４５）
「新しい生活様式に対応したシステム（ＩＣＴ基盤）の構築のために」
講師：　上田　和也氏（リコージャパン株式会社）
北川　幹雄氏（ワークスモバイルジャパン株式会社）

＊意見交換……（１５：４５～１６：４５）
「生活に医療が必要な方が自分らしく暮らし続けるために」（仮題）
～感染症による「新生活様式」の中で生き抜く～
コーディネーター：　大谷　悟　氏（医療と福祉の連携強化のためのシンポジウム実行委員長）
○ 講師及びフロアを含めた意見交換

■申し込み・問い合せ先　大阪府重症心身障害児･者を支える会内 実行委員会
〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5丁目15－28 育徳コミュニティーセンター２Ｆ
TEL.06-6624-2555 ／ **FAX.06-6624-2556**
メールアドレス **osaka@sasaeru.or.jp**

■申し込み必要事項　（①～⑤）を記入の上、ＦＡＸまたはメール＊にてお申し込み下さい（様式問わず）
①件名（医療と福祉の連携強化のためのシンポジウム ステージⅦ 参加申込書）、②氏名・フリガナ、
③〒・住所、電話・ＦＡＸ、ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ、④職種・所属など、⑤参加の形態（会場またはオンライン＊）

＊オンラインでの参加をご希望の方は、必ずメールにてお申し込みください。なお、開催に向けて、
当日ご参加予定のパソコンメールを受信できる端末から送信いただければ幸いです。

◎コロナ感染症の対策からオンラインでのご参加をお願いする可能性がありますのでご容赦ください。